

レインボーバラ共選組合「父の日」あわせて毎年恒例 西尾市長・JA西三河組合長へバラの花束寄贈

レインボーバラ共選組合（山本圭悟組合長）は6月14日、西尾市の中村健市長とJA西三河の名倉正裕代表理事組合長に、バラの花束（50本）を寄贈します。

これは「西尾市のお父さん」代表である西尾市長・JA組合長に向けて毎年行っているもの。父の日にバラを贈る習慣を市内に広めることと、「西尾市の花」であるバラの消費拡大のPRを目的としています。



昨年のバラ寄贈（西尾市役所にて）

■寄贈日程■

（西尾市役所）

【日時】6月14日（金）午後2時

【集合】西尾市役所 3階応接室

【贈呈相手】西尾市長 中村健

（JA西三河）

【日時】6月14日（金）午後3時

【場所】JA西三河本店 3階役員室

【贈呈相手】JA西三河 代表理事組合長 名倉正裕

【訪問する生産者】

レインボーバラ共選組合

組合長 山本圭悟

副組合長 大須賀隆記 などの組合役員



野々宮センターでのバラ出荷作業

■最近のバラの作柄（5月現在）

4月以降は天候不順もなく、日照が十分で、色つやの良いバラを出荷しています。

組合では目揃え会を定期的に行き、高品質のバラ出荷を行っています。

【レインボーバラ共選組合 概要】

部会員数：15人・1法人

耕作面積：約730^ア（22,000坪）

出荷実績：107品種・約540万本（平成30年度）

収穫期：通年

出荷先：愛知県内を中心に、関東・関西の市場



【お問い合わせ・ご連絡先】

JA西三河（西三河農業協同組合）

〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15 企画室企画課 広報担当：岡田

TEL：0563-56-5214 担当者携帯：070-1414-4251

HP：<https://www.ja-nishimikawa.or.jp/> Eメール：kikaku@ja-nishimikawa.com

※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関あてに発信しています。
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料（ニュースリリース）」ページにも掲載しています。

西尾市のバラ生産の概要

～鮮度と日持ちが自慢！ 地元で美しいバラを届ける～

■西尾のバラ生産の特徴■

西尾市のバラ生産者で作る「レインボーバラ共選組合」では、年間に約540万本のバラを周年生産し、愛知県内を中心に、関東・関西方面の市場へ出荷しています。

1993（平成5）年の発足以来「地産地消」と「高品質」を重点に掲げており、愛知県内の市場への販売額は県内一。発足当初より湿式輸送（水の入った容器で市場への輸送を行うこと）を全国に先駆けて採用するなど、鮮度への強いこだわりを見せています。

安定経営を背景に、後継者として若い生産者も就農。高品質のバラを将来にわたり出荷できる体制を整えています。



レインボーバラ共選組合の生産者ら

■日持ち性の認証取得でブランド定着向上を■

レインボーバラ共選組合は2018年4月、日本花き生産協会の「花き日持ち性向上生産管理基準認証者」の認証を取得しました。

この認証は、同協会が花きの日持ち性を高めるため生産段階で必要な事項を品目ごとに定め、基準に従って生産出荷する生産者や生産者団体を認証するものです。

同組合はこの認証取得による、さらなるブランド定着・向上を通して、所得増加を目指しています。



「日持ちさん」ロゴ
日持ち性認証を取得した生産者や団体が
パッケージや名刺などに
使用できる

■市民にバラをもっと身近に■

レインボーバラ共選組合では、地元向けのバラ出荷を重点的に行うほか、県内の大型量販店での即売や西尾市主催のイベント参加を通してバラ消費をPRしています。

また同組合婦人部では毎年、西尾市内の小学校で「花育」の授業を行い、子どもたちが花と触れ合う機会を提供しています。今年度は2月頃に行う予定です。



小学校での「花育」活動

【生産者部会情報】

名称：レインボーバラ共選組合

部会員数：15人・1法人 耕作面積：約730[㍓]（22,000坪）

流通先：愛知県内の市場（愛知県市場への流通量は県内1位）、および関東・関西方面の市場

出荷実績：107品種・約540万本（2018年度）

収穫期：通年

（全国の生産概況）（平成30年度）

全国のバラ生産量：2億3600万本

愛知県のバラ出荷量：4330万本（全国1位、以下静岡県（2050万本）・山形県（1740万本））

データ：農林水産省 作況調査（花き）平成30年度第1報